

財団法人 8020 推進財団

平成 19 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名 : 歯周病ケア体験モニター事業及び歯周病ケア普及啓発事業

2. 申請者名 : 旭川歯科医師会

3. 実施組織 : 旭川歯科医師会、上川中部地域歯科保健推進協議会  
協力 : 旭川市健康推進課、地元新聞社及び放送局ほか

4. 事業の概要 :

近年、適切な歯周病予防による歯の喪失防止は明らかである。また、歯周病が糖尿病などの全身疾患の進行に影響することも明らかになっているが、歯石除去や PMTC などのプロフェッショナルケアや歯周病予防のために定期的に歯科受診するイメージやメリットについての認知度が低いため、歯周病健診の受診率が低いと考えている。

そこで、本事業は、歯周病予防の具体的イメージと予防のために歯科受診することのメリットを周知し、歯科健診の受診率向上につなげることを目的とする。

歯周病予防モニターを地域住民から募集し、学会認定歯周病専門医による歯科健診とセルフケア指導を中心に実施し、モニターの体験などを広報媒体通じて紹介する。

5. 事業の内容 :

地元新聞・ラジオ局等から歯周病予防の大切さについて PR するとともに本事業を周知しモニターを募集した。受診中やかかりつけでの管理中の方を除外し 3 名のモニターを選出した。モニターには 3 ヶ月間 8~10 回のセルフケア指導とプロケアを受けて頂いた。また、学会認定歯周病専門医が歯周病予防の効果やメリットをモニターに解説した。

モニターにはプロフェッショナルケアを受けている期間内のお口の状態やセルフケアの度合いを自己監視（モニタリング）により自己記録し、健康度やセルフケアの向上等の具体的メリットを認識してもらい、そのモニタリング事例を広報に提供してもらった。

こうした取り組みを、地元ラジオ局などに取材頂き、モニターと専門医のインタビューとして歯周病予防のセルフケアやプロケアの体験を紹介した。

モニターの体験事例による予防のための歯科受診のメリットを地元報道機関の協力により広く紹介するとともに、共通する歯周病予防のポイントを紹介したポスターやパンフレットを配布する。

6. 実施後の評価（今後の課題） :

モニターから共通するメリットや経済的負担感等の不安事例を抽出し、報告書にまとめるとともに広報等に体験談の掲載を通じて歯周病健診や予防の PR に役立てる予定。

次年度に体験内容の動画を作成し、インターネット等で公開するなど若年層へも歯周病予防の重要性を PR し、实际的に認知度や受診率の向上に結びつけることが課題である。